

エコアクション21

2022年度環境経営活動レポート

(2021年10月から2022年9月まで)



株式会社りんくう北中



作成日：2022年11月25日

株式会社りんくう北中

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社りんくう北中は、地球温暖化・オゾン層破壊・酸性雨等の環境問題が年々深刻化していることを認識し、事業活動を通して、環境負荷を少しでも抑えるべく省エネルギーやリサイクル、クライアントの環境経営の貢献などを広く総合的な環境経営に取り組めます。

<環境経営活動方針>

1. 事業活動にかかわる環境関連の法規・条例及び当社が約束した要求事項を遵守します。
2. 当社のすべての事業活動において環境に与える負荷を削減するため、環境目標を定め、次の事項に重点的に取り組みます。
 - ①二酸化炭素の削減
 - ②水資源の削減
 - ③廃棄物の削減
 - ④化学物質の適正な管理
 - ⑤グリーン購入の推進
 - ⑥環境配慮サービスの推進
3. 環境マネジメントシステムを導入し、環境経営の継続的な改善に努めます。
4. 環境経営への取り組みを環境経営活動レポートとしてとりまとめ公表します。
5. この環境経営方針は全従業員に周知するとともに、社外へも公表します。

制定日：2014年10月1日

改定日：2019年 8月1日

株式会社りんくう北中

菊川真康

□登録事業所の概要



- (1) 事業所名及び代表者名
株式会社 りんくう北中
代表取締役 菊川 眞康
- (2) 所在地
本社:大阪府泉佐野市下瓦屋5丁目2番8号
岸和田支店:大阪府岸和田市五軒屋町6-11
貝塚営業所:大阪府貝塚市澤156番地
阪南営業所:大阪府阪南市黒田84-2
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 営業部 次長 山田 勝毅
環境管理担当者 業務部 助野 光
本社Tel:072-464-8807 Fax:072-464-9078
- (4) 事業内容(認証・登録の範囲)
総合ビルメンテナンス業(清掃業務、警備業務、設備管理業務、リース業務)

- (5) 事業の規模
売上299,277千円

| | 本社 | 岸和田支店 | 貝塚営業所 | 阪南営業所 |
|-------|------|-------|-------|-------|
| 従業員 | 98人 | 無人 | 無人 | 無人 |
| 延べ床面積 | 126㎡ | 80㎡ | 47㎡ | 72㎡ |
| 社有車台数 | 7台 | 0台 | 0台 | 0台 |

※上記短時間労働者含む 常勤雇用人数は52人

- (6) 事業年度 10月～9月

| 項目 | 単位 | 基準年度 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|--------------------------|--------------------------|----------------|--------|--------|--------|
| 二酸化炭素排出量 (対象:電力・ガソリン) | kg-CO ₂ /年 | 23,444 | 23,126 | 30,626 | 35,188 |
| 一般廃棄物量排出量 | Kg/年 | 369 | 366 | 273 | 251 |
| 総排水量 | m ³ /年 | 85.0 | 88.0 | 121.0 | 120.5 |

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:株式会社りんくう北中

活動:全組織・全活動



□環境経営目標及びその実績



| 項目 | 年度 | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | | 2023年 | 2024年 |
|-------------------|----------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | | (基準年度) | (過去実績) | (過去実績) | (目標) | (実績) | (目標) | (目標) |
| 電力の二酸化炭素排出量 | (kg-CO ₂) | 2,391 | 2,388 | 2,786 | 2,343 | 2,528 | 2,320 | 2,296 |
| 基準年比 | | | 100% | 117% | 98% | 106% | 97% | 96% |
| ガソリンの二酸化炭素排出量 | (kg-CO ₂) | 21,053 | 20,738 | 27,840 | 20,632 | 32,660 | 20,421 | 20,211 |
| 基準年比 | | | 99% | 132% | 98% | 155% | 97% | 96% |
| 二酸化炭素排出量合計 | (kg-CO₂) | 23,444 | 23,126 | 30,626 | 22,975 | 35,188 | 22,742 | 22,507 |
| 一般廃棄物 | (kg) | 369 | 366 | 273 | 362 | 251 | 358 | 354 |
| 基準年比 | | | 99% | 74% | 98% | 68% | 97% | 96% |
| 水使用量 | (m ³) | 85.0 | 88.0 | 121.0 | 83.3 | 120.5 | 82.5 | 81.6 |
| 基準年比 | | | 104% | 142% | 98% | 142% | 97% | 96% |
| グリーン購入 | (点数) | 290 | 297 | 312 | 296 | 346 | 299 | 278 |
| 基準年比 | | | 102% | 108% | 102% | 119% | 103% | 96% |
| 地域環境保全活動 | (回数) | 61 | 66 | 67 | 62 | 61 | 63 | 59 |
| 基準年比 | | | 108% | 110% | 102% | 100% | 103% | 96% |

(注)産業廃棄物の廃棄はありません。

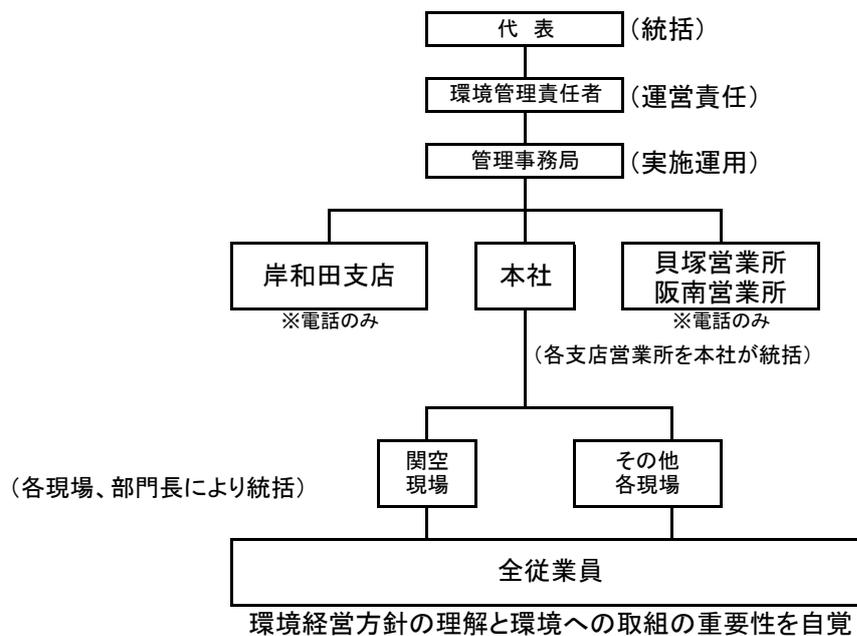
(注)2022年度より電力の二酸化炭素排出係数は0.311(kg-Co₂/kWh)を使用

◎それ以前は0.418(kg-Co₂/kWh)を使用 比較のために排出係数を0.311(kg-Co₂/kWh)に合わせた。

※地域環境保全活動については 月4回(会社周辺清掃)+その他のクリーン活動:48回+αとする。

「環境活動の取り組み計画と評価」参照

【環境経営システム組織図】



□環境経営活動の取り組み計画と評価



| 取 り 組 み 計 画 | 達 成 状 況 | | 評 価(結果と今後の方向) |
|--|--|--|---|
| 電力の削減 ●省エネ目標の説明 ●節電運動展開(不要照明の消灯) ●クールビズ運動(ノーネクタイの奨励) ●空調機の冷房28℃ 暖房22℃ ●未使用電気製品の電源オフ ●閑空事業所においても上記の運動を実施する | 基準年度 今年度 目標 実績 | 2,391 kg-CO2 2,343 98% 2,528 106% | ×目標未達成 全体的に見ると大きく突出している月はないが、目標達成することができなかった。 こまめな対策を徹底していく。 また、新しい対策を考えて実践していく。 |
| 自動車燃料の削減 ●自動車燃費向上目標の説明 ●急加速・急停車防止(エコドライブシールの貼付) ●冷暖房の控え目使用(冷房28℃ 暖房22℃) ●車両運行記録簿により走行距離を記録 ●ハイブリッド車の購入(買換え時) | 基準年度 今年度 目標 実績 | 21,053 kg-CO2 20,632 98% 32,660 155% | ×目標未達成 基準年と現在では、仕事の状況も変わり増加している。 とくに自動車の使用と業務の増加が比例しているため、基準年を見直しの検討をしていく。 |
| 一般廃棄物の削減 ●一般廃棄物削減目標説明 ●ミスコピーの防止 ●帳票見直しによる印刷物の削減(電子ファイル化) ●FAX用紙の削減(PC-FAXを使用) | 基準年度 今年度 目標 実績 | 369 kg 362 98% 251 68% | ○目標達成 この1年で、日々の対策が後半にかけて大きく表れてきた。 引き続き対策ならびに従業員の協力の元、維持できるようにしていく。 |
| 水使用量の削減 ●水道水削減目標説明 ●トイレ節水弁取り付け | 基準年度 今年度 目標 実績 | 85 m ³ 83 98% 121 142% | ×目標未達成 後半にかけ、今までの節水対策に加え、水量を抑える工夫を実践してきたことにより僅かではあるが減少に転じている。 引き続き現状を維持かつ減少に向けてやっていく。 |
| グリーン購入 ●印刷・情報用紙のグリーン購入 ●トイレトペーパーのグリーン購入 ●文具・事務用品のグリーン購入 | 基準年度 今年度 目標 実績 | 290 点数 296 102% 346 119% | ○目標達成 社内の備品や、現場での必要な資材で、エコ商品に切り替えられるものを積極的に切り替えていったことにより目標を達成することができた。 |
| 地域環境保全活動 ●本社周辺の地域清掃(週1回) ●泉佐野市環境美化活動への参加(9月、2月) | 基準年度 目標 実績 | 61 回数 62 102% 61 100% | ×目標未達成 定期的な倉庫の整理整頓及び適切な処理の確認を行っており、引き続き徹底していく。 |
| 化学物質の適正な管理 ●適正な保管管理 ●現場使用時、安全衛生使用管理 | 数値化の目標設定をしていないが、安全安心な職場環境整備に向けて化学物質の管理徹底と使用量削減を検討していく。 | | |

□環境関連法規制等の順守状況



法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

| 適用される法規制 | 適用される事項(施設・物質・事業活動等) | 遵守 |
|----------------|--|----|
| 廃棄物処理法 | ・産廃についてはマニフェスト発行により適正処理 | ○ |
| 悪臭防止法 | ・自社ビル | ○ |
| 自動車 NOX・PM法 | ・ディーゼル車 (社有車0台のため該当なし) | ○ |
| 自動車リサイクル法 | ・営業車7台 | ○ |
| 家電リサイクル法 | ・エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機 | ○ |
| 建築物衛生法 | ・ビル管理業務請負時 | ○ |
| 浄化槽法 | ・浄化槽本体 | ○ |
| フロン排出抑制法 | ・業務用空調機 | ○ |
| 労働安全衛生法 | ・労働安全衛生上、月1労働衛生会議 | ○ |
| 消防法 | ・自社ビルおよび業務受注相手先ビル ・清掃剥離剤:ハクリスタープロ10(第4類第三石油類) | ○ |
| PRTR法 | ・清掃剥離剤:ハクリスタープロ10(2-アミノエタノール) | ○ |

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の違反はありませんでした。
また、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟は、過去3年間ありません。

□地域環境保全活動を紹介



□地域ゴミ置き場の清掃(週1日)



□分別、リサイクルの取り組み



※コープいこらも～る泉佐野店に設置されているリサイクル回収に出している。



※泉佐野市内に設置されている古紙無料受入に出している。

2022年11月25日

全体的に日々の地道な対策が、後半にかけて僅かではあるが数字に表れてきている。事務所内における電力ならびに水の使用量について、可能な限りの対策を引き続き継続している。

目標達成に厳しいところもあるが、対策により大きくオーバーすることはなかった。また、廃棄物ならびにグリーン購入についても、意識徹底をおこなうことで目標達成できている。

しかし、ガソリンの使用量については、業務増加と比例して増加している。基準年とは、また業務の状況も代わり業務量も異なるため、そろそろ基準年の変更を検討していく。

そして、効果の出ている対策については、引き続き取り組み目標達成を目指したい。

次年度において環境経営方針及び実施体制の変更はありません。環境経営目標・計画は基準年の見直しを指示しました。

□次回環境活動レポート発行予定日

2023年11月